

◆不老集

わが息に形代の袖うちふるへ

藺草 慶子

ものみな夕日に赤く門涼

岩田 由美

もはや形なきもの曳きて蟻の列

金谷 洋次

蚊のつばさだけが動いて汝と我

岸本 尚毅

蟻の道石に当りて輪を描き

小坪 健水

子の掴むおもたき魚や霾ぐもり

坂本 靖夫

松かけてさらに水面へ藤の花

鈴木 豊子

向日葵の太き一莖花一輪

田中三二良

海鳥の下に流るる青葉潮

野上けいじ

海風に待てば腹見せ夏燕

橋本 久美

新盆が来ると花屋の前通る

松村 幸一

荒梅雨や藪をはなれし蔓の揺れ

茂木 泉

葩戸は下げしままなり青葉闇

山口梅太郎

梅落花石に張りつき雨に錆び

若松 明弘